2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	一般撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	消化管・血管撮影業務に関すること		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第121回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第122回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第123回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第124回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第125回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第126回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第127回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第128回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第129回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第130回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第131回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第132回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第133回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第134回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第135回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第136回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第137回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第138回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第139回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第140回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第141回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第142回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第143回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第144回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第145回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第146回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第147回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第148回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第149回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第150回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第151回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第152回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	X線CT検査業務に関すること		
第153回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第154回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第155回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第156回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第157回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第158回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第159回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第160回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第161回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第162回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第163回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第164回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第165回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第166回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第167回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第168回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第169回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第170回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第171回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第172回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第173回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第174回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第175回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第176回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第177回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第178回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第179回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第180回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第181回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第182回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第183回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第184回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第185回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第186回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第187回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第188回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第189回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第190回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第191回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第192回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第193回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第194回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第195回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第196回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第197回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第198回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第199回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第200回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第201回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第202回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第203回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第204回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第205回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第206回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第207回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第208回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第209回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第210回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第211回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第212回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第213回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第214回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第215回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第216回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核磁気共鳴画像検査業務に関すること		
第217回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第218回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第219回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第220回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第221回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第222回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第223回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第224回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第225回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第226回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第227回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第228回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第229回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第230回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第231回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第232回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第233回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第234回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第235回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第236回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第237回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第238回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第239回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第240回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第241回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第242回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第243回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第244回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第245回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第246回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第247回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第248回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第249回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第250回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第251回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第252回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第253回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第254回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第255回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第256回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第257回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第258回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第259回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第260回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第261回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第262回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第263回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第264回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第265回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第266回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第267回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第268回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第269回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第270回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第271回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第272回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第273回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第274回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第275回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第276回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第277回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第278回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第279回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第280回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第281回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第282回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第283回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第284回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第285回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第286回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第287回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第288回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第289回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第290回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第291回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第292回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第293回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第294回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第295回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第296回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	核医学検査業務に関すること		
第297回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第298回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第299回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第300回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第301回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第302回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第303回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第304回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第305回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第306回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第307回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第308回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第309回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第310回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第311回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第312回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	超音波検査業務に関すること		
第313回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第314回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第315回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第316回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第317回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第318回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第319回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第320回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第321回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第322回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第323回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第324回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第325回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第326回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第327回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第328回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第329回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第330回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	4年次	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者		

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第331回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第332回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第333回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第334回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第335回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第336回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第337回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第338回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第339回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第340回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第341回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第342回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第343回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第344回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第345回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	360　(8)　時間(単位)
対 象 学 年	4年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	泉谷信行	実務経験とその関連資格	臨床実習病院　5年以上の実務経験者			

《授業科目における学習内容》

診療放射線技師・医療従事者に関する業務の習得に関わる実習　8単位(360時間)

《成績評価の方法と基準》

臨床実習確認表、出席状況並びに報告会等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

"臨床実習の教育目標は、"診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における放射線治療の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。"ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3) 診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。臨床実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第346回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第347回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第348回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第349回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第350回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第351回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第352回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第353回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第354回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第355回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第356回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第357回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第358回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第359回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		
第360回	実習形式	授業を通じての到達目標	基本的な実践能力を身に付け、施設における放射線部門の運営に関する知識・分析力等を養い、被験者及び患者への適切な対応を学ぶ。		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。それでも疑問が残れば、実習先で確認する。
		各コマにおける授業予定	その他の業務・患者対応について		